

# 積水化学工業株式会社

環境・ライフラインカンパニー

給排水システム事業部 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450

積水化学北海道(株) 〒001-0014 札幌市北区北十四条西4-14-1(ハーモネットビル)  
管工機材営業部 ☎011(737)6330

東北支店 〒980-6060 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル)  
給排水システム営業所 ☎022(222)4115

北東北営業所 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20(ニッセイ盛岡駅前ビル)  
☎019(624)6000

東京支店 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)  
給排水システム営業所 ☎03(5521)0641

横浜営業所 〒220-0004 横浜市西区北幸1-4-1(天理ビル)  
☎045(311)6661

静岡営業所 〒422-8067 静岡市駿河区南町18-1(サウスポット静岡)  
☎054(289)6051

関東営業所 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-7-5(ソニックシティビル)  
☎048(646)0160

新潟営業所 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23(北陸ビル)  
☎025(244)9261

長野営業所 〒380-0906 長野市鶴賀七瀬751-6(大成第2ビル)  
☎026(226)6510

中部支店 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3(NHK名古屋放送センタービル)  
給排水システム営業所 ☎052(952)9733

近畿支店 〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル)  
給排水システム営業所 ☎06(6365)4502

北陸営業所 〒920-0853 金沢市本町2-15-1(ポルテ金沢ビル)  
☎076(231)4245

京滋営業所 〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町2-2(京都研究所内)  
☎075(662)3418

神戸営業所 〒651-0096 神戸市中央区雲井通4-2-2(マークラー神戸ビル)  
☎078(251)6636

中・四国支店 〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル)  
給排水システム営業所 ☎082(224)6251

岡山営業所 〒700-0024 岡山市駅元町1-6(岡山フコク生命駅前ビル)  
☎086(222)0651

四国営業所 〒761-8075 高松市多肥下町442-1  
☎087(815)3582

九州支店 〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-35(博多三井ビルディング2号館)  
給排水システム営業所 ☎092(271)1314

お客様相談室 【東京】03-5521-0505  
【大阪】06-6365-4133

●お問い合わせは上記各営業所へ

# SEKISUI

2008.1 改訂6版

■建築排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

# エスロン®DVLPシリーズ

DVLP・ラセンDVLP



エスロンタイムズ on the Web

<http://www.eslontimes.com>

好評  
発信中!

\*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。  
\*改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

不許転載

1990年 9月 初 版  
2008年 1月 改訂6版  
エスロン DVLPシリーズ  
カタログ

積水化学工業株式会社  
給排水システム事業部

ツールコード

No.05621

2008.1. 3TH 0Y



# よりコンパクトで経済的。 安全で安心できる建築設備排水管材エスロンDVLPシリーズ

近年の建築様式の多様化に伴い、建物に対するニーズの要求はより高品質の管材が求められるようになってきております。塩ビライニング鋼管づくり 35年以上の実績を持つ当社は、それらの要望に対応できる管材として、耐震性・耐食性・施工性・軽量性などあらゆる面にすぐれた排水用塩化ビニルライニング鋼管「エスロンDVLP」を開発し1981年上市発売以来、皆様からのご好評をいただいております。また、平成元年には「建設省、機械設備工事共通仕様書」に掲載され、日本水道鋼管協会規格品（WSP042）建築排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管として認められました。

さらに、省スペース化と排水性能の向上を実現させた建築排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管「エスロンラセンDVLP」を加え、耐食性・施工性・経済性に最も優れた建築設備用排水システムを開発いたしました。つきましては建築設備用排水管材としてエスロンDVLPシリーズを広くご採用していただきますようお願い申し上げます。

## INDEX

- エスロンDVLPの特長 ..... 2
- エスロンDVLPの用途 ..... 2
- エスロンDVLPシリーズの豊富な品揃え ..... 3
- エスロンDVLP管の構造と規格 ..... 4
- エスロンTMⅡ型継手の構造と規格 ..... 5
- ラセンDVLP管の構造と規格 ..... 7
- ADスリム継手RRタイプ・ADミニ継手RRタイプの構造と規格 ..... 8
- エスロンDVLPの品質 ..... 9
- 標準施工法 ..... 10
- 設計参考資料 ..... 13
- 耐薬品性 ..... 13
- 安全にお取り扱いいただくための注意事項 ..... 14

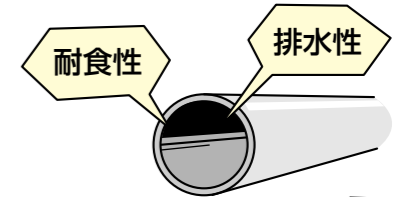
本文中のマークについて	
 <b>注意</b>	◀ 事故を起こす原因となる事項には、左記のマークを表示してありますので、必ずお守りください。
	◀ 製品性能を確保できない原因となる事項には、左記のマークを表示してありますので、必ずお守りください。

## エスロンDVLPの特長

エスロンDVLPは、鋼管の機械的強度と、硬質塩化ビニル管のもつ、すぐれた耐食性を兼ね備え、従来の排水用管材に比べ、信頼性の向上と軽量化を目指した管材であり、新しい排水用管材として、すぐれた特長を持っています。

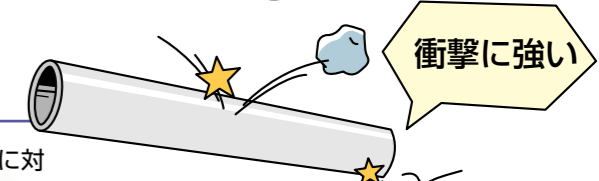
### 1 耐食性、排水性にすぐれています。

内面の塩ビ管は、平滑にしてピンホールや肉厚のバラツキもなく耐食性にすぐれており、錆コブが発生しにくく、経年による変化もなく常時安定した流れが確保できます。



### 2 耐火性、強靭性にすぐれています。

従来の鋼管と同様に防火区画の貫通ができ、外部からの衝撃に対しても鋼管なみの強靭性があります。



### 3 軽くて作業性にすぐれています。

鋼管や鋳鉄管に比べ、30～50%も軽いので、寸法取りや、持ち運びなどの作業性にもすぐれ、また建築設備の軽量化も図れます。



### 4 遮音性にすぐれています。

流水音の発生は鋼管より小さく、排水鋳鉄管と同等です。

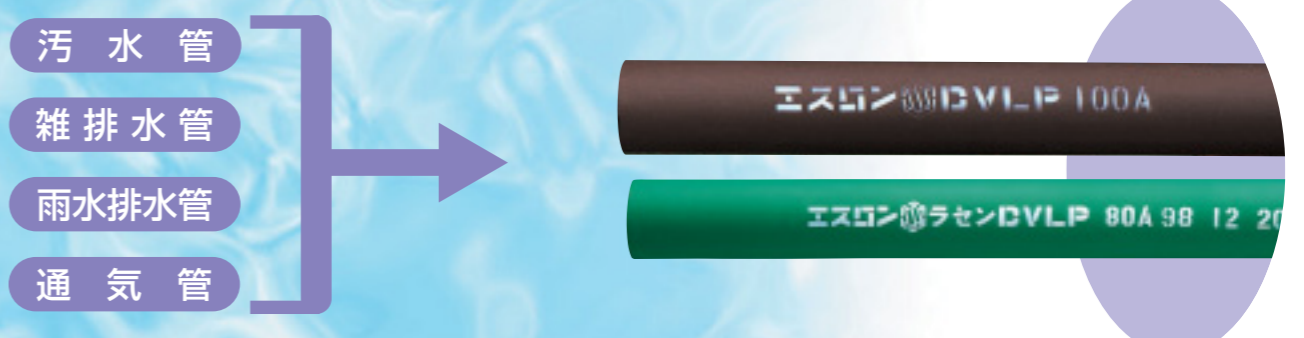
### 5 経済的な排水用配管です。

鋳鉄管や、コーティング鋼管など従来の排水用管材と比べ、作業性・施工性などにすぐれているため、経済的な管材です。



## エスロンDVLPの用途

外部からのいろいろな荷重・外力に対して、鋼の強さを発揮し内部のライニング層は硬質塩化ビニルですから、錆コブの発生や、スライムの付着による流水性能低下の不安がありません。従って、建築設備のあらゆる排水システムの配管として使用できます。



# エスロンDVLPシリーズの豊富な品揃え

エスロンDVLPシリーズは、配管の規模や用途によって管、継手、接合方式を選んでいただけるように品揃えしています。

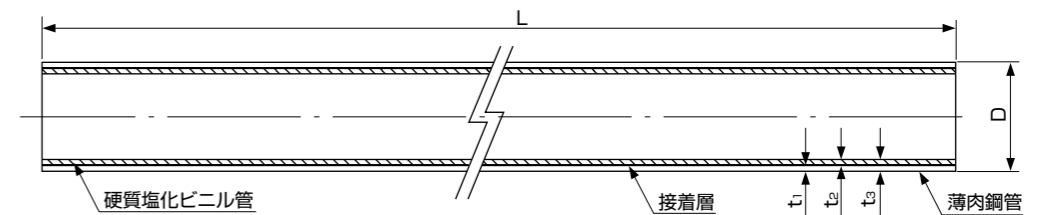


# 管の構造と規格

## DVLP

日本水道鋼管協会規格 (WSP-042)

エスロンDVLPは、JIS G 3452 (配管用炭素鋼管) の外径寸法をもつ薄肉鋼管の内面に、押し成型した硬質塩化ビニル管をライニングしたもので、建築排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管です。



単位: mm

呼び径 A	ライニング径 D	鋼管肉厚 t <sub>1</sub>	ビニル管肉厚 t <sub>2</sub> ①	長さ L	平均肉厚 t <sub>s</sub>	参考質量(kg) 1m当り
40	48.6	2.0	1.5	5,500 <sup>+40</sup> <sub>0</sub>	3.5	2.6
50	60.5	2.0	1.5		3.5	3.3
65	76.3	2.3	1.5		3.8	4.7
80	89.1	2.3	2.0		4.3	5.7
100	114.3	2.8	2.0		4.8	8.7
125	139.8	2.8	2.0		4.8	10.6
150	165.2	3.2	2.5		5.7	14.5
200	216.3	3.8	2.5		6.3	22.2

備考: ①ライニング管の厚さは、鋼管の厚さ、接着層、ビニル管の厚さを加算したものです。  
②重量は、鋼管の比重を7.85、ビニル管の比重を1.43として計算したもので、規格の一部ではありません。

## エスロンDVLP用継手について

エスロンDVLPの継手には、施工性と耐食性をさらに向上させたクッションパッキン付きの「エスロンTM-II型継手」をご使用ください。「エスロンTM-II型継手」は、圧送用ではありません。圧送用配管としてご使用の際は必ず「エスロンTMグリッパ」を合わせてご使用ください。

⚠ 次に示す加工を必要とする継手は使用できません。

- ①ネジ加工を必要とする継手。
- ②高温をとまなう加工を必要とする継手。
- ③拡径または縮径を必要とする継手。
- ④外装鋼管の肉をけずり取る必要のある継手。



# 継手の構造と規格

## ■エスロンTM-II型継手の特長

### ①管端の防食処理が確実で管の熱伸縮も吸収します。

管端防食と管の熱伸縮吸収を兼ね備えたクッションパッキンにより、管端防食処理が「より確実」で「よりスピーディ」になりさらに管の熱伸縮による異常音の発生も防止します。

### ②経済性にすぐれています。

エスロンDVLPとの組み合わせにより、鋳鉄配管に比べ安価で経済性にすぐれた配管が可能です。

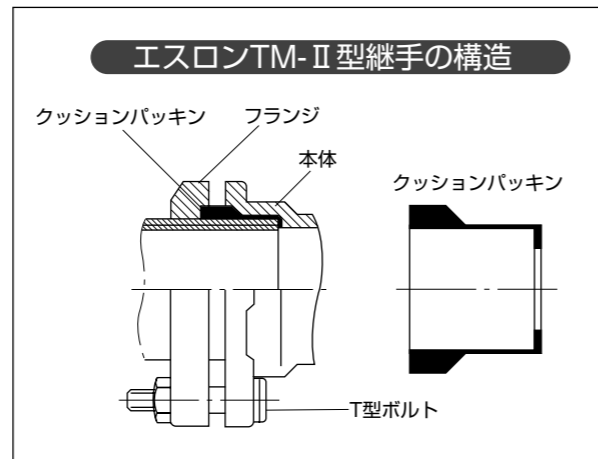
### ③耐震性にすぐれています。

振幅±30mmの反復曲げ試験の結果、漏れその他の異常もなく、地震による建物の振動にも十分対応できる性能を有する継手です。



### ④施工性にすぐれています。

ボルトがT型となっており、ナット締めだけで配管ができるため、ねじ接続より施工が簡単です。



## ■エスロンTMグリップ

△「エスロンTM-II型継手」を圧送用配管に用いるには、管の抜け出し防止、漏水防止をより確実にする「エスロンTMグリップ」をご使用ください。

■最高使用圧力  
3.5kgf/cm<sup>2</sup>以下

■品揃え  
50A、65A、80A、  
100A、125A、  
150A、200A

組立図

TMグリップ

## ■エスロンTM-II型継手の品揃え一覧

※は受注生産です。

種類	略号	呼び径
5°エルボ	5°L	80~125
10°エルボ	10°L	80~200
90°エルボ	90°L	32~250
90°大曲りエルボ	90°LL	32~200
汚水用90°エルボ	90°LLS	65~250
45°エルボ	45°L	32~250
90°Y	ST	32~150
90°大曲りY	TY	32~250
45°Y	Y	32~250
ソケット	S	32~250
掃除口付ソケット	COS	50~150
CO栓	CO	30~200
VST-A	VST-A	60~125
VST-C	VST-C	50~100
ロングVST	VST-L,VST-AL	80、100×80
満水試験兼用掃除口付継手	COS-TII	50~150
満水試験用具	COS-TPAII	50~150
流し用ロングエルボ	TL	40、50
ロングTL	TL-L、TL-M	40、50
90°ロングY	LST	65~125
ロングST	LST-L	65~125
ユニオン	U	50~200
ブッシュ	MBU	80×65
両口VST	WVST-RL	100×80×50
洗面器用アダプター	VRA	40~32
ロングVRA	VRA-L	40~32
※ 掃除口付45°エルボ	45°CL	100、125
※ 両口VST	WVST	50~32、100~80
両口90°大曲りY	WTY	50、65×50、80、100、100×50、100×80
両口90°大曲りY	WTY-L	80×50、100×50
※ ロングクロス	LPC	65×40×40~125×65×65
※ 超ロングクロス	LPC-L	80×40×40~100×65×65
ロングクロスアダプタ	LPC-AD	65×40~80×80
BタイプロングST	LST-B	65×40~100×80
Bタイプ45°エルボ	45°L-B	50~150
掃除口付90°大曲りエルボ	90°CLL-A	80~125
※ 90°両Y	WST	65×50~125×50
※ ロングTY	TY-L	80×65
※ 首長VST-B	VST-B,VST-LB	80×80~125×80
※ 45°バンド	45°LLS	125
サンタリーアダプター	SA、SA-L	80
汚水用バンド	90°SB	80
Bタイプ90°L	90°L-B	40~80
便器接続管10°	SB	80
22°1/2エルボ	22°1/2L	50
※ 差込エルボ	VSL	80
※ S字自在ソケット	SS	80
※ 超ロングST	ST-AL	100×40~100×65
洗面器用ソケット	VRS、VRS-L	50~32
φ30塩ビ管用アダプター	VP-A	30
※ キャップ	CA	80
※ Bタイプ90°VSエルボ	VSL-B	80
鉛管接続用アダプター	LS	32~100
鉛管接続用90°Y	ZT	80
排水鋳鉄管用アダプター	CIP-A	80~150
直結用アダプター	TM-Ni	50~150
TMグリップ	TM-G	50~200
TMグリップフランジ付ソケット	—	65~100
オスアダプター	TM-OS	40~150
ファンコイルアダプター	—	32×25、40×25
転がし配管用90°大曲りエルボ	90°LL-BF	65
転がし配管用45°エルボ	45°L-BF	65
転がし配管用90°大曲りY	TY-BF	65×40、65×50

※詳しくはエスロンTMシリーズカタログをご参照ください。

# 管の構造と規格

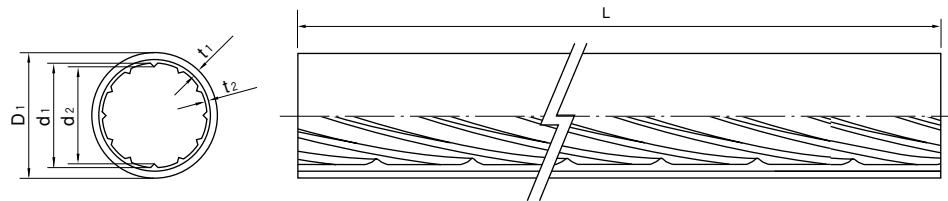
## ■ ラセンDVLP (立て管専用)

エスロンラセンDVLPは、内層塩ビ管の内面に三角形のリブをラセン状に設け、排水に旋回力を与え、管壁に沿って流下させます。これにより排水の流下速度を低下させると共に、管内の空気芯が確保でき、管内圧力の変動を低く抑えることができる管材です。

- ADスリム継手との組み合わせでサイズダウンが可能になりました。
- ADミニ継手との組み合わせでコンパクトで安価な配管システムを実現しました。

組合せ	許容排水	
	80A	100A
ADスリム継手	5.5 //sec	7.5 //sec
ADミニ継手	4.5 //sec	5.5 //sec

※許容排水量は17階建て規模相当での値であり、詳細については、ラセンDVLPシステム技術資料をご参照ください。



単位：mm

呼び径	外径	鋼管内厚	塩ビ肉厚	内径	リブ部内径	長さ	参考質量(kg)
A	D1	t1	t2	※d1	※d2	L	1m当り
80	89.1	2.3	1.7	81.1	76.5	5,500	5.7
100	114.3	2.8	2.0	104.7	98.7	5,500	8.8

備考：①※印は、参考値を示します。

②鋼管外径及び鋼管内厚は、当社排水用塩化ビニルライニング鋼管(DVLP)と同一であり、現状の排水用可撓継手(TM II型継手)受け口とも接合可能です。

### ●管の構造



ラセン状リブにより  
流下速度を減速、  
管内の空気芯を確保

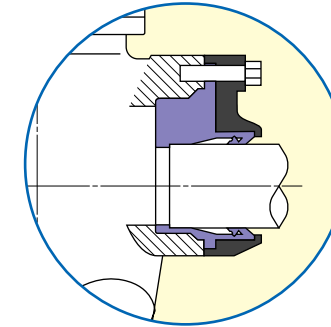


# 継手の構造と規格

## ■ エスロンADスリム継手RRタイプ (呼び径80A・100A)

### ●ワンタッチ接続パッキンを開発

熱伸縮の吸収、管端防食に優れたクッションパッキン(TM II型継手)の構造を組み込んだワンタッチ接続パッキンを開発しました。



### ■許容排水量

管・継手 呼び径	ラセンDVLP・ ADスリム継手RR	DVLP・ ADスリム継手RR
80A	5.5 //sec	2.5 //sec
100A	7.5 //sec	6.0 //sec
125A	—	14.0 //sec

※詳しくは、エスロン単管式排水システムカタログをご参照ください。

## ■ エスロンADミニ継手RRタイプ (ラセンDVLP専用継手)

特殊な横枝管の流入構造をした内面傾斜板を持つ継手と、ラセンDVLPの組み合わせにより、コンパクトで高性能配管システムを実現しました。



### ■便器排水用

呼び径	100A×80A
本体重量	7.7kg
有効長	160mm
許容排水量	5.5 //sec

### ■雑排水用(ロングタイプ)

呼び径	80A×65A
本体重量	7.0kg
有効長	371mm
許容排水量	4.5 //sec

### ■台所排水用

呼び径	80A×50A
本体重量	5.6kg
有効長	157mm
許容排水量	4.5 //sec

### ■台所排水用(ロングタイプ)

呼び径	80A×50A
本体重量	6.8kg
有効長	361mm
許容排水量	4.5 //sec

※詳しくは、エスロン単管式排水システムカタログをご参照ください。

# エスロンDVLPの品質

## ■管の品質規格

エスロンDVLPは、JIS G 3452 (配管用炭素鋼管)に規定された鋼管と同等以上の品質をもつ鋼管及び、JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管)に規定された品質をもつ塩ビ管を使用し、鋼管内面に塩ビ管を接着剤によってライニングしたもので、次の規格によって品質管理を行っています。

D V L P 品質	試験項目	試験温度	品質	
	接着性試験	常温	2kg/m <sup>2</sup> 以上	
	耐熱試験	常温、85℃	85℃、30分→常温、放冷30分3サイクルで内面塩ビ管の縮み、ふくれがないこと。	
塩ビ管の 品質	へん平試験	常温	管外径の95%の高さになるまで圧縮させ、きず・割れ・はく離が生じないこと。	
	浸漬試験	試験液の純度および濃度		重量変化度 (g/m <sup>2</sup> )
	○水	蒸留水		±2.0以内
	○塩化ナトリウム溶液	JIS K 8150	(塩化ナトリウム(試薬))の1級以上の10%水溶液	±2.0以内
	○硫酸	JIS K 8951	(硫酸(試薬))の1級以上の30%水溶液	±2.0以内
	○硝酸	JIS K 8541	(硝酸(試薬))の1級以上の40%水溶液	±2.0以内
○水酸化ナトリウム溶液	JIS K 8576	(水酸化ナトリウム(試薬))の1級以上の40%水溶液	±2.0以内	

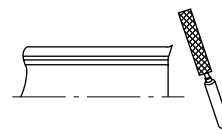
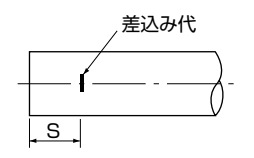
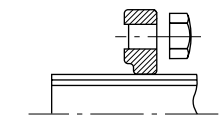
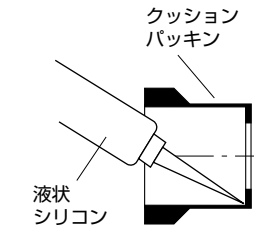
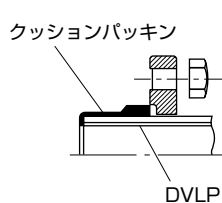
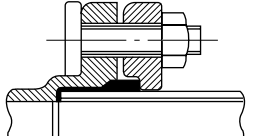
## ■防火区画貫通に関する法的運用

防火区画の種類		通知・認定
消防法関係	共住区画 令8区画	消防予第344号通知
	建築基準法関係	国土交通大臣防火区画認定 ◇床：PS060FL-9456 ◇壁：PS060WL-9457










# 標準施工法

## ① TM-II型継手とDVLPの接続

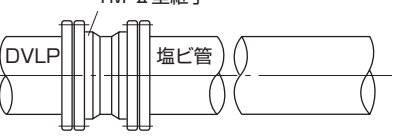
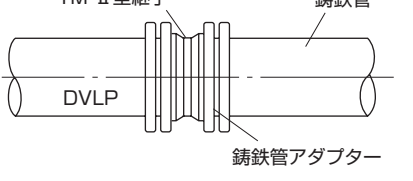
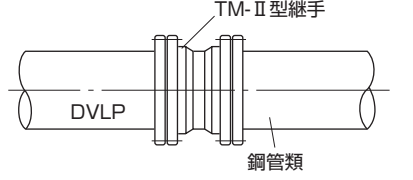
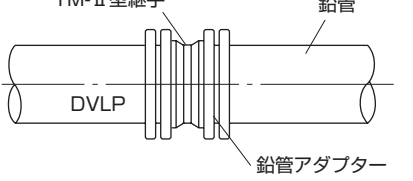
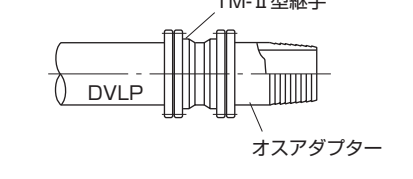
作業手順	作業内容または注意点																														
管の切断・バリ取り・清掃 (DVLP)	<p>△①自動金鋸盤 (電動弧鋸盤・可搬式帯鋸盤・バンドソー) を使用し、切断歯に荷重を与えないようにして管を直角に切断してください。</p> <p>△②内外面の糸面取りを行い、切断面のバリやカエリをヤスリ等で取り除いてください。</p> <p>△③受口部・管内面および端面に付着した水分・切り粉・砂・異物を除去してください。</p> 																														
標線の記入	<p>①継手受口への差し込み代を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>40</td><td>34</td></tr> <tr><td>50</td><td>37</td></tr> <tr><td>65</td><td>42</td></tr> <tr><td>80</td><td>46</td></tr> <tr><td>100</td><td>52</td></tr> <tr><td>125</td><td>61</td></tr> <tr><td>150</td><td>64</td></tr> <tr><td>200</td><td>72</td></tr> </tbody> </table> 	呼び	S	40	34	50	37	65	42	80	46	100	52	125	61	150	64	200	72												
呼び	S																														
40	34																														
50	37																														
65	42																														
80	46																														
100	52																														
125	61																														
150	64																														
200	72																														
部品のセット	<p>①DVLP管にフランジを図のようにセットしてください。</p> 																														
(TM-II型継手) 液状シリコンの塗布	<p>①クッションパッキンの内側コーナー部に液状シリコン (例：セキスイシリコンシーラントなど) を塗布してください。</p> <p>②管外表面塗り、及びパッキン内周面全面塗りは避けてください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">標準塗布量</th> <th colspan="8">(g/箇所)</th> </tr> <tr> <th>口径</th> <th>塗布量</th> <th>40</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>4.0</td> <td>4.9</td> <td>5.8</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> 	標準塗布量		(g/箇所)								口径	塗布量	40	50	65	80	100	125	150	200			1.7	2.1	2.7	3.1	4.0	4.9	5.8	7.0
標準塗布量		(g/箇所)																													
口径	塗布量	40	50	65	80	100	125	150	200																						
		1.7	2.1	2.7	3.1	4.0	4.9	5.8	7.0																						
クッションパッキンの管端への装着	<p>①クッションパッキンを管端部にあたるまで挿入してください。(管端部への挿入が困難な場合には、管表面に少量の石鹼水などを塗布してください。)</p> <p>②液状シリコンが管内にはみ出したときは、ウエスなどで拭き取ってください。</p> 																														
ボルトの締め付け	<p>①管の先端を継手本体に挿入し、締め付けボルトを締め付けてください。過大トルクにならないように注意してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(kg・cm)</th> </tr> <tr> <th>呼び</th> <th>トルク</th> <th>呼び</th> <th>トルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>40A</td><td>85</td><td>125</td><td>400</td></tr> <tr><td>50</td><td>100</td><td>150</td><td>500</td></tr> <tr><td>65</td><td>150</td><td>200</td><td>600</td></tr> <tr><td>80</td><td>200</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>100</td><td>250</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>  <p>●TM-II型継手</p>	(kg・cm)				呼び	トルク	呼び	トルク	40A	85	125	400	50	100	150	500	65	150	200	600	80	200	—	—	100	250	—	—		
(kg・cm)																															
呼び	トルク	呼び	トルク																												
40A	85	125	400																												
50	100	150	500																												
65	150	200	600																												
80	200	—	—																												
100	250	—	—																												

## 2 TMグリップの接続

作業手順	作業内容または注意点																								
管の切断・バリ取り ・清掃 (DVLP)	<p>⚠️①バンドソーなどを用いて直角になるように切断してください。 ※断面の仕上げは、TM-II型継手と同じ手順で作業を行ってください。</p> 																								
差し込み代の 標線記入	<p>①継手受口への差し込み代を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼 び</th> <th>差し込み代 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>65</td><td>55</td></tr> <tr><td>80</td><td>65</td></tr> <tr><td>100</td><td>75</td></tr> <tr><td>125</td><td>85</td></tr> <tr><td>150</td><td>90</td></tr> <tr><td>200</td><td>125</td></tr> </tbody> </table> 	呼 び	差し込み代 (mm)	50	50	65	55	80	65	100	75	125	85	150	90	200	125								
呼 び	差し込み代 (mm)																								
50	50																								
65	55																								
80	65																								
100	75																								
125	85																								
150	90																								
200	125																								
TMグリップのセット	<p>①TMグリップ本体及びパッキンカバーを管に送り込みセットしてください。 ②特に締め付け方向にご確認ください。</p> 																								
液状シリコンの塗布	<p>①クッションパッキンの内側コーナー部に液状シリコン (例：セキスイシリコンシーラントなど)を塗布してください。 ②標準塗布量は次の通りです。(g/箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>口 径</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗布量</td> <td>2.1</td> <td>2.7</td> <td>3.1</td> <td>4.0</td> <td>4.9</td> <td>5.8</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> 	口 径	50	65	80	100	125	150	200	塗布量	2.1	2.7	3.1	4.0	4.9	5.8	7.0								
口 径	50	65	80	100	125	150	200																		
塗布量	2.1	2.7	3.1	4.0	4.9	5.8	7.0																		
クッションパッキンの 管端への装着	<p>①クッションパッキンを管端部にあたるまで挿入してください。 (管端部への挿入が困難な場合には、管表面に少量の石鹸水などを塗布してください。) ②液状シリコンが管内にはみ出したときは、ウエスなどで拭き取ってください。</p> 																								
締め付けボルトの 締め付け	<p>①管の先端を継手本体に挿入し、締め付けボルトを締め付けてください。 (この時、TMグリップの固定ボルトは本体が軽くスライドする程度まで締め付けてください。) ②標準締め付けトルクは次の表に従ってください。(kg・cm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>トルク</th> <th>呼び</th> <th>トルク</th> <th>呼び</th> <th>トルク</th> <th>呼び</th> <th>トルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>100</td> <td>80</td> <td>200</td> <td>125</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>65</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>250</td> <td>150</td> <td>500</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※エスロンTM、TM-IIに適する。</p> 	呼び	トルク	呼び	トルク	呼び	トルク	呼び	トルク	50	100	80	200	125	400	200	600	65	150	100	250	150	500	-	-
呼び	トルク	呼び	トルク	呼び	トルク	呼び	トルク																		
50	100	80	200	125	400	200	600																		
65	150	100	250	150	500	-	-																		
TMグリップ固定 ボルトの締め付け	<p>①締め付けボルトの締め付け完了後、TMグリップ固定ボルトを締め付けてください。 ②標準締め付けトルクは次の表に従ってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼 び</th> <th>トルク (kg・cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50</td><td>300</td></tr> <tr><td>65</td><td>400</td></tr> <tr><td>80</td><td>450</td></tr> <tr><td>100</td><td>500</td></tr> <tr><td>125</td><td>500</td></tr> <tr><td>150</td><td>550</td></tr> <tr><td>200</td><td>700</td></tr> </tbody> </table> 	呼 び	トルク (kg・cm)	50	300	65	400	80	450	100	500	125	500	150	550	200	700								
呼 び	トルク (kg・cm)																								
50	300																								
65	400																								
80	450																								
100	500																								
125	500																								
150	550																								
200	700																								
点 検	①パッキンのはみ出しや、不均一な締め付けがないか点検してください。																								

## 3 異種管との接続の注意事項

エスロンDVLP管の外径は、配管用炭素鋼管の外径に準じて作られています。次に示す加工(ねじ加工、高温をともなう加工、拡径または縮径加工、外装鋼管の肉をけずり取る加工)を必要とする継手の使用はできません。従って異種管との接続はTM-II型継手との接続が基本となります。  
また、管の抜け出し防止をより確実にするエスロンTMグリップ(TM-II型継手適用)も取り揃えております。

異 種 管	作業内容または注意点									
DVLPと塩ビ管 (VP)	<p>DVLPと塩ビ管 (VP)との接続には、TM-II型継手をご使用ください。</p> 									
DVLPと 排水鋳鉄管 (メカニカル型)	<p>●鋳鉄管差し口とDVLPを接続する場合 DVLPと鋳鉄管との接続は、下表をご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用パッキン</th> <th>管の外径</th> <th>鋳鉄管の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常のパッキン</td> <td>鋼管外径の鋳鉄管</td> <td>JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：差込み形、RJ管</td> </tr> <tr> <td>排水鋳鉄管用アダプター</td> <td>鋼管外径以外の鋳鉄管</td> <td>JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：メカニカル形、1種管、2種管</td> </tr> </tbody> </table> <p>●鋳鉄管受け口にDVLPを接続する場合 DVLPとメカニカル型排水用鋳鉄管の接続には、鋼管用ゴム輪をご使用ください。</p> 	使用パッキン	管の外径	鋳鉄管の種類	通常のパッキン	鋼管外径の鋳鉄管	JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：差込み形、RJ管	排水鋳鉄管用アダプター	鋼管外径以外の鋳鉄管	JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：メカニカル形、1種管、2種管
使用パッキン	管の外径	鋳鉄管の種類								
通常のパッキン	鋼管外径の鋳鉄管	JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：差込み形、RJ管								
排水鋳鉄管用アダプター	鋼管外径以外の鋳鉄管	JIS G 5525-2000「排水用鋳鉄管」：メカニカル形、1種管、2種管								
DVLPと鋼管類	<p>DVLPと鋼管類との接続には、TM-II型継手をそのままご使用ください。</p> 									
DVLPと鉛管	<p>DVLPと排水用鉛管との接続には、TM-II型継手と鉛管接続用アダプターをご使用ください。</p> 									
DVLPとねじ接合 (ベントキャップ等)	<p>DVLP管の外装鋼管は薄肉のため、ねじ切削加工はできません。ねじ接合には、TM-II型継手オスアダプターをご使用ください。</p> 									

# 設計参考資料

## 1 支持工法

エスロンDVLVの支持及び固定方法は、国土交通省の「公共建築工事標準仕様書」ならびにMD継手工業会「排水鋼管用可とう継手施工マニュアル」の通り、下記のように行ってください。

項目	支持間隔および支持箇所									
	呼び径 (A)	40	50	65	80	100	125	150	200	
横走配管	最大支持間隔	棒鋼吊り	2.0m以下					3.0m以下		
		形鋼振れ止め支持	—					8m以下		12m以下
立て配管	継手部の支持 (棒鋼吊り)	継手1ケに1箇所支持してください。吊る位置は継手の真近としてください。なお、エルボは両口、チーズ類は通し側1口、枝側1口を吊ってください。								
	形鋼振れ止め支持	各階ごとに1箇所以上支持をしてください。								
	固定支持	立て管最下部で固定支持してください。								

# 耐薬品性

このデータは、2ヶ月間の浸漬実験の結果を示したものです。

一般の衛生設備配管に、これらの高濃度薬液流体が長期間流れる場合には、表をみて使用の可否を判断してください。

※下表は参考としてご利用ください。(ご不明な点は、弊社営業所までお問い合わせください。)

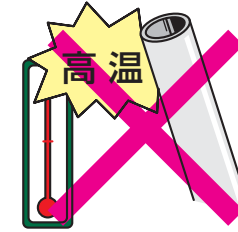
薬品名	温度℃		薬品名	温度℃		薬品名	温度℃	
	20	60		20	60		20	60
水	○	○	硫 酸 5%	○	○	メチルエチルケトン	×	
洗 剤	アルカリ性	○	20%	○	△	酢 酸 エ チ ル	△	
	酸性	○	50%	△	×	塩 化 メ チ レ ン	×	
溶 剤	界面活性剤	○	硝 酸 5%	○	△	ク ロ ロ ホ ル ム	×	
	界面活性剤	○	20%	△	×	二 酸 化 エ チ レ ン	×	
塩	塩化ナトリウム 20%	○	塩 酸 5%	○	○	トリクロロエチレン	×	
	硫酸アンモニウム 30%	○	20%	△	×	四 塩 化 炭 素	×	
	炭酸ナトリウム 10%	○	36%	×	×	石 油 エ ー テ ル	×	
	塩化アンモニウム 10%	○	ク ロ ム 酸 5%	○	×	n - ヘ キ サ ン	×	
ア ル カ リ	水酸化ナトリウム 5%	○	10%	△	×	ヘ ン ゼ ン	×	
	25%	○	30%	×	×	ト ル エ ン	×	
	50%	○	リ ン 酸 30%	○	○	キ シ レ ン	×	
	水酸化カリウム 25%	○	酢 酸 10%	○	△	モ ノ ク ロ ル ベ ン ゼ ン	×	
	50%	△	75%	×	×	ニ ト ロ ベ ン ゼ ン	×	
	水酸化アンモニウム 10%	○	弗 化 水 素 酸 10%	△	×	ア ニ リ ン	×	
20%	○	20%	×	×	ヒ リ ジ ン	×		
29%	△	メ タ ノ ール	△		ガ ソ リ ン	×		
アンモニア水 10%	○	エ タ ノ ール	△		過 酸 化 水 素 15%	○	△	
	—	ア セ ト ン	×		次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ 5%	○	△	
					亜 塩 素 酸 ソ ー ダ 5%	△	×	

注) 1.上記の表で○印は侵されない、△印はやや侵されるが使用可能、×印は使用できない。  
2.濃度の記入がないものは、濃度100%を示す。

# 安全にお取り扱いいただくための注意事項

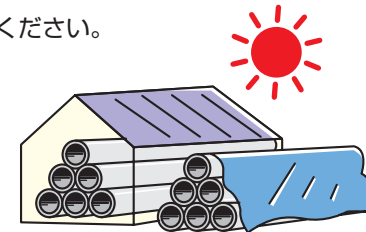
## 1 使用限界温度

▲注意 常温0℃～60℃、瞬時では85℃以下です。高温で長時間使用すると、塩ビ部が膨張して、内部が詰まったり、はがれたりする恐れがあります。



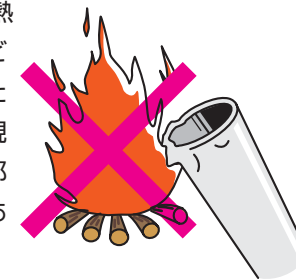
## 2 保管上の注意

▲ エスロンDVLVは、炎天下や酷寒の場所に放置しないでください。倉庫に入れるか、ビニールシートを被せてください。



## 3 火気厳禁

▲注意 エスロンDVLVを火に近づけないでください。100℃以上に加熱されると、塩化ビニル部が炭化したリ、シワ、発泡現象が起こり、内部が詰まることがあります。



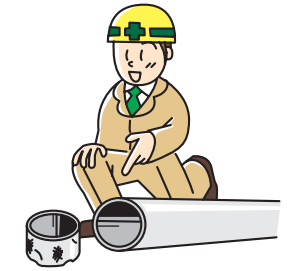
## 4 現場および輸送上の注意

▲ 配管工事中、あるいは輸送中などにより異常なショックを与えた時は、内部の状態をよく確かめてから使用してください。



## 5 管端変形

▲ エスロンDVLVの管端部分が万一変形した場合、この部分を切断、除去して使ってください。



## 6 使用できない薬品

▲ エスロンDVLVは、エステル・ケトン・エーテル・四塩化炭素などの有機溶剤には膨潤現象をおこしますので使用しないでください。



## 7 塗装

▲ エスロンDVLVは、下塗り一次防錆しか施していませんので、中塗り、上塗りをしてください。

